

## 災害時における生活支援【福祉／生活支援技術】

### 1 はじめに

近年、大規模な水害をもたらす広範囲で長時間にわたる記録的な大雨が相次いでいる中、多数の要介護者を抱える老人介護施設において、全入居者を無事避難させるために、どう対応すべきかが大きな課題となっている。また、新学習指導要領において、災害時の支援については「災害時に、介護従事者としての確に行動できるようにするために、災害時における支援の意義や目的及び役割、災害の種類や被災者の身体状況及び心理状態の把握、災害時の情報伝達や安全確保、多職種協働について実習を含めて扱うこと、災害時における具体的な対応、行動についても扱う」とされ、その重要性は増している。そこで、本実践では、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の過程を通して、災害時に介護従事者に求められる主体性や、協働的に課題解決に取り組む態度の育成を目指した。

### 2 単元名

「災害時における生活支援」

### 3 単元目標

- (1) 近年の災害状況について関心を持ち、介護現場に起こる課題を想定し、その解決に向けて主体的に取り組むことができる。
- (2) 災害時に求められる介護福祉士の役割を考え、状況に応じた対応について考えを深めることができる。
- (3) 支援体制が整ってきた後の食事支援や身じたくの支援、清潔保持の支援等の技術を身に付ける。
- (4) 災害時の心身の状況の変化や支援体制について理解する。

### 4 単元の指導計画

- (1) 第1節 被災地で活動する際の心構え・・・2時間
- (2) 第2節 災害時における生活支援・・・4時間（本時 1/4）

### 5 本時の目標

介護現場での浸水被害を身近な課題と捉え、その対応策を主体的に考えることができる。

### 6 授業展開

導入 5分	<b>被災地における活動場所【課題の設定】</b> ・一般避難所、福祉避難所、仮設住宅等において介護福祉士が活動することを知る。
展開1 10分	<b>災害時における生活支援【情報の収集】</b> ・近隣河川の洪水浸水想定区域や警戒レベルについて学校周辺は最大3mの浸水が想定されていること等、学校周辺の浸水被害について理解する（プレゼンテーション資料を参考にする）。 ・架空の特別養護老人ホームにおいて、2階に入所する40名の要介護者を3階へ垂直避難するために要する時間を計算する。 提示条件：要介護度別の入所者数、職員数、施設の見取り図、移動手段別所要時間等

展開2 15分	<b>災害時における生活支援【整理・分析】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難開始時間及び避難経路，誘導する順番等についてグループで考える。</li> <li>・自分たちが介護職員として働いていると仮定し，全員が安全に素早く避難する方法について考える。</li> <li>・災害時における介護施設での避難方法について具体的事例を知る（プレゼンテーション資料を参考にする）。</li> </ul>
展開3 10分	<b>災害直後の生活支援【整理・分析】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の支援のうち，非常食としての備蓄品と必要数を考える（要介護度別の適切な条件や嚥下配慮食品の見本を基にする）。</li> <li>・排泄の支援として，簡易トイレの設置方法を考える。</li> </ul>
まとめ 10分	<b>介護福祉士としての生活支援【まとめ・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職としての自覚を持ち，救助が来るまでの対応方法について考える。</li> </ul>

## 7 評価

A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
介護現場の浸水被害に関する事例をもとに，近隣河川が氾濫した際の対応策を主体的かつ具体的に考えることができる。	介護現場の浸水被害に関する事例を参考にした対応策を主体的に考えることができる。	浸水被害に関する一般的な解決策のみを考えている。